



もりの手紙

mo ri no te ga mi

森にこうよ!
もりメイト倶楽部
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

e-mail. info@morimate-ch.com

url. http://www.morimate-ch.com/



9
長月

NO 314 / 2023

安全を第一に、
楽しく！
できる時に
できることを！



狐原山での7月例会。暑い^{さなか}最中の作業中にもあふれる笑顔。がんばりました！P3にて報告

contents

- ★9月例会案内〈9月24日:日〉
「河平連山」登山道整備
..... 2
- ★7月例会報告
「狐原山」草刈り&整備:土谷
..... 3
- ★里山部会報告 :岩田
- ★クラフト部会報告:高杉
..... 4
- ★第2回もりメイトキッズ:佐々木
..... 5
- ★「中山倉庫」総点検:富田
・24時間テレビ立ち合い募金に参加
..... 6
- ★里山シンポジウム案内
- ★今月のひと枝:ワルナスビ
..... 7
- 8月・各部会の活動案内他
..... 8

私たちが 森づくりを応援しています。

- ◆株式会社ニシナ屋珈琲 ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社東和テクノロジー ◆こだまクリニック
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり
- ◆イオンスタイル広島府中・マックスバリュウ西風新都店
(イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン)

《 ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略 》

もりメイト倶楽部
Hiroshima

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり:健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く:森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森から学ぶ:人と森との関わりを学びます。
- 森の恵みを伝える:恵みを利活用し、拡げる活動。

例会

倶楽部のメイン行事(原則第4日曜日)
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は1997年から活動している団体です。
広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています!

広島市民賞、ひろしま県民活動県知事賞、広島ユネスコ活動奨励賞、
全国林業普及協会会長賞など受賞歴多数。



2023年9月地域貢献プロジェクト例会【担当4班】

「^{こうひら}河平連山」登山道整備



「松が原」は町名に「松」があるように松が多い地域です。近年、松枯れが多々見受けられ、倒木もあり大変危険な状況になっています。例会では、昨年に引き続き登山道の整備を予定しています。伐ったあとの片付けなど、たくさんの手が必要です。是非ご参加ください。

◆日時：9月24日(日) 8時30分～小雨決行～

◆集合場所：大竹市「松が原町集会所」(字東河内 445 番地 3)

◆持参物：山の道具・弁当・飲み物・名札

《参加費》会員：無料・一般：500円(大学生までの青少年は無料)

◆申込み：9月16日(土)までに各班長へ連絡。

※ 賛助会員その他参加希望の方は
下記へ電話かメールにてご連絡下さい。



090-6419-7531 : info@morimate-ch.com



河平連山は、広島市の西方、大竹市玖波の奥、松ヶ原町の上に9つのピークをもった連山です。

大正12(1923)年、旧日本軍の飛行機が峰に激突して殉職之碑が建てられ、地元ではこの山を「飛行機山」とよんでいます。平成5(1993)年、地元住民によってハイキングコースが整備されました。毎年、9月23日の祝日に草刈りをされておられますが、高齢化で支障木の整備は出来ないとの事。もりメイトキッズ等でご縁をいただいている倶楽部としては是非お力になりたいと思います。

大小のアップダウンが続く連山で、岩あり、ロープあり、滝ありと変化に富み、瀬戸の海や宮島の大鳥居、三倉岳、羅漢山、吉和冠山を眺めながらの縦走はとても素晴らしい眺めです。是非ご参加を。

※写真は、作業前の倒木が道をふさいでいる箇所
& 河平連山の雄姿。 ~ 昨年例会から ~

~10月例会は、第5日曜の29日。「スクウスクウの森」にて行います。詳細は10月号会報にて。~



「狐原山」の草刈り&桜を活かす景観整備

～7月23日(日) in 湯来町白砂 【参加者】59名～

47名(育成講座受講生5名含む)・地元湯来ふるさとプロジェクト会員：9名 湯来体育館：3名



今回は、「刈り払い機や長柄鎌による草刈りグループ」、「支障木伐倒を中心にしたグループ」、「もりメイト育成講座第27期受講生の皆さんを中心とした刈り払い機講習会のグループ」、そして「湯来体育館の皆さんによるエコスタック作り班」、「地元湯来ふるさとプロジェクト会員の皆さんによる溝そうじや昼食づくり」などに分かれて

作業を行いました。この『エコスタック』とは、枝や刈った草などを積み、カブトムシなどの昆虫や小さな生き物が生息する場所となるものです。

各グループのリーダーは朝7時45分までに集合し、担当エリアを確認、機材を各グループ用に振り分けました。今回は、遊歩道の草刈りを最優先とし、サクラの支障木を伐り、適材をエコスタック用に運ぶのが主な作業です。オリエンテーションでは各班の担当エリア等の説明後、それぞれのグループに別れて事前ミーティングを行い、担当エリアへ向かいました。各グループとも休憩をこまめにとり、熱中症対策には万全を期しました。

作業終了後は道具の整備。チェーンソー・刈り払い機

鎌・ノコギリをそれぞれ使った人が手入れをして軽トラックに積み込んだ後、グループ毎に集まりミーティングを行い、作業の結果や安全事項や気づきの意見を出し合いました。

正午あたりからお楽しみの昼食タイムに入り、「湯来ふるさとプロジェクト」会員の皆さんが準備してくださった七夕汁(星形のオクラ入り)とおむすびをいただき、無事に例会を終了しました。

今回は、遠方の湯来町で、かつ、暑い最中の例会であったにもかかわらず、総勢60名近くに及び近年では最大規模の参加者数となりました。改めて皆さまに御礼申し上げます。
《 3班：土谷 正樹 》



左上から：刈った草を集めエコスタックへ。 上中：育成講座受講中の皆さんと。伐倒の予習も！ 上右：左から刈り払い機講習班 橋本さん、富田さん、高橋さん。
 左下：溝掃除任せて！湯来プロ事務局 平木さん。 下中：間伐材利用エコスタック制作中の体育館の皆さんと看板。 下右：伐倒した木を片付けるパンヤさん。



この日は78回目の原爆慰霊祭。通常の開始時間よりも1時間前に集まり、地域交流で地元の方々と一緒に水路清掃と草刈りを行いました。

砂原・川原・佐藤・北田の各4名は、取水口まで上がりながらの水路清掃作業（今回はわりと楽でした。とのことでしたが、皆汗びっしょり）。鎌田・平尾・岩田の3名は草刈りを担当しました。途中、サイレンが鳴り作業を中断し1分間の黙とうを捧げました。こうして平和に作業をさせていただくことに誠に感謝です。

さて、通常の里山部会前に、ひと汗をかいて臨み、いつもより少し遅く9時30分スタート。始業ミーティングでは、7月の作業のふりかえり（荒天時の参加基準について確認）と、当日の作業についての周知を行いました。当日の主な作業は、駐車場の草刈りと、ナラ枯れ病に罹り枯れて倉庫に直撃しそうなコナラ1本の伐倒。チルホール・ロープを使って確実に倒し、棚積みまで行い作業を終了しました。地元の新宅さんからスイカ、会員の明野さんから、瓜を差し入れていただき、皆で美味しく頂戴いたしました。（12名の参加）

次回は、9月10日（日）妙国寺裏山のスクウスクウの森で10月例会の準備・参道沿いに新たに発見されたナラ枯れを伐倒する予定です。月替わりの責任者の応募待っています。

写真上：地域交流初参加の平尾さん 中：駐車場で刈り取った草を集める川原さん(奥)
下：伐倒した材を棚積みする高橋さん。



8月のクラフト部会では、「ゆうゆう」や各種活動のための部材製作

を東山本の鹿が谷ベースで実施しました。当該場所は、今年度、砂防堤が作られるため、ベースの周辺は工事現場の様相を呈しています。先月で進入路の整備と樹木の伐採が行われ、山肌があらわとなっています。

作業環境は今年度一杯、良好とは言えませんが、植物園での「秋のグリーンフェア」、森林公園での「森の市」等のイベントが目白押しであり、しっかり準備をしようと思いで励ましています。

興味のある方は是非とも参加して頂きたいと思います。8月の参加人数は13名でした。

写真左：すっかり様変わりした 砂防堤が作られる鹿が谷の現在。 右：秋のイベントに向け、部材作りに励むクラフト部会活動の様子。



17th Stage 2023

もりメイトキッズ

森が育む、未来の力 森づくり活動体験を通して、豊かな心を育てていきましょう

キッズテーマズ (もり) いきものハーモニー

森に住む動植物と人が共存するために大切なことを
自然体験活動を通じて一緒に考えてみませんか

第1回 4月16日(日) 第2回 7月30日(日) 第3回 11月5日(日)

今年度より森の環境によりアツクツムと町なまか

【参加費】 本館見学のみ参加：小学生以上家族 観覧人数：キッズ30名
 【料】 参加費：300 活動時間：15:00~16:00
 【場】 大分県立自然史博物館 大分県立自然史博物館 大分県立自然史博物館
 【参加】 参加費は別途。駐車場から会場まで徒歩約15分です
 【加 費】 参加費以上1,500円 未就学児(4〜6歳) 800円
 参加費は別紙を参照してください。
 【注】 1) 雨天は中止。お天気の都合により変更する場合がございます。
 2) 本館見学のみ参加は、雨天、休館、メンテナンス等
 関係の上、キャンセル料がかかります。キャンセル料は別途
 でお知らせいたします。ご了承ください。

NPO法人 大分県自然史博物館

第2回 もりメイトキッズ開催 7月30日(日曜日)

in 大竹市松が原キッズフィールド

キッズ参加: 34名《子供12名 未就学児6名 保護者16名》
 スタッフ: 16名 大学生ボランティア3名 学生引率者1名

■午前中のプログラムは、昆虫観察を行いました。講師は、旧松ヶ原小学校の最後の校長であり、昆虫にとってもお詳しい池上先生。快く引き受けてくださいました。この日は、みんなが大好きなカブトムシやクワガタには会えませんでした。珍しいアカガエルを見つけたり、チョウやトンボ、色々な幼虫などを観察する事ができました。これからも、虫たちの棲みかにふさわしい、より多くの生き物が暮らせる環境を目指して、もりメイトキッズとスタッフ共々、少しずつ森の整備を続けていきたいと思っています。

■お昼は、羽釜で炊いたご飯と、地元野菜いっぱいのカレー、サラダの数々。今回もまた、倶楽部のシエ

フを担って下さる北田夫妻を中心に作られたとっても美味しいランチを頂き、みんな大満足。食べた後はブランコやターザンロープ、シーソーのある森の中で思う存分遊びました。

■午後からは、木工クラフト。昆虫をモチーフに、小枝を駆使したモビールを製作しました。カブトムシやトンボ、セミなど、こちらが参考にしたくなるほどの想像力が発揮され、ステキな作品の数々が出来上がりました。

子ども達、学生ボランティア、スタッフみんなが協力し、暑さも何のその、ケガなく無事プログラムを終えることが出来て良かったです。ご協力ありがとうございました。

《環境教育部会長 佐々木綾子》

■真夏に開催した第2回のもりメイトキッズ。目を輝かせ嬉々とした子ども達の姿に、スタッフも元気をもらいスタートを切りました。

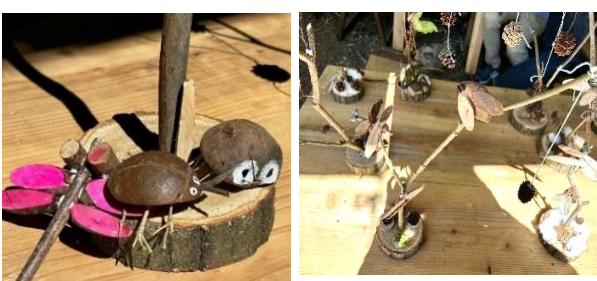
緑茂る木陰の中とはいえ、今年の夏はすこぶる熱く、こまめな水分補給と休憩等で、暑さ対策には十二分に配慮して臨みました。



朝のオリエンテーション(上)と、木工クラフト作品



右上左は池上先生。子ども達の真剣なまなざしも！植物観察の様子。



～幼児組プログラム～ 昆虫観察を終え、小学生が池上先生から昆虫の話しを聴いている間、幼児組は、子ども向けSDGsのカード(日本シェアリングネイチャー発行)を使って、生き物のカルタ遊びを楽しみました。スタッフが交代でカードを読み上げると「ハイ！」とカードをタッチ。これらのカードは小さなお友だちが、生き物への興味や関心が育まれるように工夫されています。これからも色々遊びを通して、楽しみながら自然に触れていきたいと思っています。



～スタッフ薫ちゃんからの一言～ 『暑さの中、無事に終わられたこと良かったです。とても楽しい幸せな時間でした。『口福』なランチと皆さんの笑顔が元気の源です。季節ごとの自然の恵みをふんだんに使って料理して下さり、自然いっぱいの中で仲間の笑顔も副菜になり『口福！』本当にいつも感謝です。』

「中山倉庫」移動及び道具類整理

4班 富田実

「ゆめみらい株式会社」様のご厚意で、東区中山に倉庫が完成したのは、2018年8月の事。主に例会で使う道具を主体に収納し、例会の準備には欠かせない存在となっています。時を重ね徐々に使用する道具も増え、今年4月に1棟増設し合わせて3棟となりました。この日、班長と有志が集い倉庫の移動、道具類の整理総点検を行いました。倉庫の開け閉めは、運営に関わる限られた会員のみとなりますが、積み下ろし作業など、その際はご協力よろしくお願いたします。



倉庫移動完了！3棟の倉庫が並びました。



暑い中お疲れさま。作業を終えてホッとひと息。

8月9日、3棟の倉庫が揃った所で、敷地内の配置を変え、車両の乗り入れや方向転回をしやすくするため竹原さんのご指導を仰ぎながら、1棟を後方に移動させました。手順(写真参照)は、庫内の道具を皆で取り出し、種類別に並べ、佐藤さん、吉村さんが中心となり、検品をしながら帳簿に記帳。その間、1台の倉庫を後方に移動させる為の、地ならし、基礎となるブロックを据えてのレベル調整。その後、ジャッキと単管パイプを利用し曳家よろしく、皆さんの力で後方へ移動させ据付完了。取り出した

道具類も、整理し倉庫へ納めました。同時に、チェーンソー工具箱内も整理し、欠品した備品・消耗品を確認、必要な備品は購入し整える事にしました。

当日は、時間的な余裕がなく、細かな棚割りやナンバリングは出来ませんでした。皆さんの力で午前中の限られた時間ではありましたが、手際よく進めて下さり所定の計画は完了。敷地内のスペースも生まれ車の方向転回もスムーズにでき、使いやすく改善できました。 《参加者、本廣・竹原・末本・佐藤・高橋・北田・吉村・原田・富田 9名》



倉庫内機材の運び出し → 基礎ブロック水平取り → 基礎ブロック敷き詰め完成 → 右側倉庫後方へ移動

24時間テレビ46「愛は地球を救う」立会募金活動に参加しました！

8月27日(日)、夕方5時から6時の間、マックスバリュー西風新都店にて「募金にご協力おねがいしま〜す」とお客さまに声をかけて、募金活動を行いました。

お母さんから渡されたお金を握りしめ、募金箱に満面の笑顔で入れてくれた女の子、わざわざ引き返して募金下さった青年、ごころうさまと声をかけご協力くださった女性。色々な姿に心が動かされました。中には大金を入れて下さった方も。コロナの関係で3年ほど立会募金を中止していましたが今年再開。倶楽部のPRも兼ねこの募金活動キャンペーンに参加しました。来年もよろしく！



募金活動参加者：佐渡・末本・山本薫・本廣・原田

里山シンポジウム IN ひろしま



～里山シンポジウムが 開催されます。～

テーマは「伐って使って未来を創る里山管理」私たち森林ボランティアにとってはまさに時期を得た話題。貴重な話が聴けるとおもいます。時間が取れる方は、是非ご参加下さい。《無料》

■日 時 : 9月7日(木曜)

13時30分～16時45分

■場 所 : コジマホールディングス

西区民文化センター 2階ホール

■申し込み&詳細は下記のコードを開いてください。

(オンライン、当日参加も可能。)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/87/r5satoyamasinnpo.html>

里山シンポジウム IN ひろしま
～伐って使って若返らせて 未来を創る里山管理～

かつて我々は、身近な森「里山」の木を伐り、燃料や木材として使いつつ、若木を再生させ、森と共に生きてきました。しかし、近年使われることなく育ちすぎた森では、ナラ枯れをはじめ、様々な森林生態系の変化が起こっています。次世代に健全な森を残すため、私たちにできることは何だろうか。神戸大学名誉教授黒田慶子氏と「里山の管理」について考えてみませんか。

参加無料

日付 令和5年 9月7日

時間 13:30～16:45

場所 コジマホールディングス
西区民文化センター 2階「ホール」
(広島市西区横川新町6番1号)

✓会場参加定員 550名
✓オンライン参加可能

参加のお申込みは
↓こちらから↓

参加費0円
お申し込みの際は
裏面をご活用ください

里山管理に興味のある方など、
どなたでもご参加いただけます!

講師紹介・タイムスケジュールは 裏面 に記載

主催 広島県、ひろしまの森林づくりフォーラム
お問い合わせ先 TEL 082-513-3694
FAX 082-223-3553 (広島県森林保全課内)

今日のひと枝 原田 澄



ワルナスビ(悪茄子)

＜ナス科 ナス属＞

北アメリカ原産の多年草。明治の時代に牧草と共に日本に入り中部地方以西に帰化。葉は互生し、長さ8～15㎝、幅4～8㎝の長楕円形で葉縁には深い鋸歯がある。高さは0.3～1mほどになり、6～10月ごろに直径約1.8㎝のナスやジャガイモに似た、白または淡紫色の花を付ける。果実は、直径約1.5㎝。ミニトマトのような実が付き黄色に熟す。葉や茎には鋭い棘があり、繁殖力がすこぶる旺盛で、手に負えないやっかいな雑草となっており、植物全体に毒を含む。このような性質を持つワルナスビ、実は、牧野富太郎により命名された。・・・▼一見すると柔らかそうな葉であるが、イタタタ・・・!と声が出るほど葉にも茎にも鋭い棘を持つ強者の草。気の毒な名を付けられたものだが、花は可愛い。▼植物の棘はさまざまな働きを持つとされ、例えば、動物からの攻撃から身を守る役割を持っていると考えられている。▼さて、ワルナスビはいかがなものか。酷暑の夏から解放され、秋の気配をふくんだ風に吹かれ、ひと時、命名された牧野博士に思いを馳せる。 ～佐伯区湯来町 2023・8～



—9月— 活動の予定

各部会はどなたでも自由に参加できます。ぜひ、いろいろな活動をご体験ください



「ひろしま森の市フォトコンテスト」作品募集

テーマ：～山や森林で活動する人々の
仕事ぶりや豊かな表情～

- ◆ 応募方法：作品のタイトルや年月日など記の上
現像写真か、メールにて(詳細は下記へご連絡を)
- ◆ 応募締め切り 10月13日(金曜必着)
- ◆ 問い合わせ：市民参加の森林づくり実行委員会
TEL：082-845-4348
E-mail：morizukuri@haff.city.hiroshima.jp

10月に松が原フィールドにてAフィールドを中心に整備を行いたいと思います。初心者の方、大歓迎です。詳細は来月号にて連絡します。9月例会が松ヶ原にて開催されますので、興味のある方は是非、終了後フィールドをご覧ください。

■連絡先：佐々木
mamakin0404@yahoo.co.jp

環研
部会

～自家木工・クラフト製作～ 自由に参加お待ちしております～

- 9月は2日・9日・16日・30日の土曜日、
山本鹿ヶ谷基地で活動します。
連絡先：岩田 080-5751-3798

クラフト
部会

- 日時：9月10日(日)9:00～15:00
- 場所：妙國寺裏スクスクウの森
～安佐北区白木町秋山白木町 1479～
- 作業：10月例会に向けての準備及び
ナラ枯れの除伐作業。
- 持参品：水筒・弁当・山の道具
- 連絡先：岩田 080-5751-3798

里山部会

10月号の会報発送作業は下記の通り、実施します。
どなたでも、都合のつく方はご参加ください。

- 日時：9月27日(水) 18:00～
- 場所：袋町市民交流プラザ 3F



会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用した木工クラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

会員の種類

- 【正会員】：倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。
- 【賛助会員】：倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

年会費

- 【個人会費】：3,000円
- 【企業会費】：50,000円

会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3283383
 【ゆうちょ銀行】15170-18029291
 《口座名》：トクヒ) モリメイトクラブヒロシマ

お申込み方法

下記まで電話、又はメールで
 【電話】090-6419-7531
 【Email】info@morimate-ch.com